

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書（Web 公開用）

申請者（ふりがな）	武井祥 （ たけいあきら ）
所属・資格（※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載）	人間科学研究科 修士課程 1 年
発表年月 または事業開催年月	2025 年 12 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	第 72 回 生体信号計測・解釈研究会
発表者（※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること）	武井祥、百瀬桂子
発表題目（※学会発表の場合のみ記載）	鉛直運動物体の到達時間推定課題における事象関連電位の評価
<p>発表の概要と成果（抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。）</p> <p>鉛直方向に運動する物体について到達時間推定課題を実施すると、上昇方向と下降方向では推定精度に差が生じるということが明らかになっているが、その際の脳活動については未解明である。本研究では運動方向（上昇・下降）と加速度（加速・減速）を組み合わせた条件の運動物体を提示し、到達時間推定課題を実施し、各施行の課題の結果をフィードバック提示した。その際の脳活動を計測し、事象関連電位の一つであるフィードバック関連陰性電位を解析した。これまでの実験から眼球運動等のアーチファクト混入などが考えられたため、眼電位を同時計測し解析に活用した。その結果、どちらの加速度条件においても下降条件では明瞭なフィードバック関連陰性電位を確認することができたのに対して、上昇条件では明瞭に確認することができず、運動方向による比較には至らなかった。アーチファクト除去が不十分であることが考えられ、除去するための解析方法や今回の結果を示すような脳活動の検討が必要であると示唆された。</p>	

※無断転載禁止